

ママへ 公園でのコロナ対策

咳エチケットの徹底を!

いつもより短めに!

他の子とじゃれあったりしないよね!

混んでいたら利用しない!

保護者は常に目をかけて!



公園で子どもを遊ばせてもいいの?

文部科学省によると“公園遊びOK”の見解が以下のように示されています。子供たちの運動不足やストレスを解消するために行う運動の機会を確保することも大切であると考えており、日常的な運動や遊び(ジョギング、散歩、縄跳びやブランコ、滑り台など)を安全な環境の下で行っていただきたいと考えます。ただし、一度に大人数が集まって人が密集する運動や遊びとならないよう、感染拡大を防止する観点からの配慮が必要です。(令和2年3月18日時点版)
(http://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00517/html)



公園ではおやつなどの飲食はやめておこう。マスクをはずす必要があるし、菌で汚れているかもしれない手で触ってしまうからね。それから手洗いやうがいはもちろん、遊んでいた時に着ていた服も帰ったらすぐに洗濯するなどの徹底した自衛が必要です。軽い風邪症状でも外出は控えよう。感染予防にしっかり配慮して出かけてほしい。

※状況は常に変化します。国・自治体の情報を確認の上、外出してください。

ママへ 水遊びで注意すること



- 1 監視** 水に濡れた所は滑りやすいし、わずかな水深でも溺れることもあるので子ども達からは絶対目を離さない。
- 2 日焼け** 肌への影響だけでなく、体力の消耗にもつながるので日焼け止めや帽子、水分補給を忘れず、熱中症にも気をつけましょう。
- 3 冷え** 遊ぶ時間はほどほどに。水遊びはたいへん体力を消耗するので体の冷えや溺れにつながることもあります。
- 4 虫さされ** 草むらや水辺には蚊やハチ、ヘビなどの虫がいます。あらかじめ虫よけグッズやかゆみ止めなどの薬を持参しよう。
- 5 感染症** プール・噴水などはたくさんの人が使うので雑菌もいっぱい。手足口病、プール熱など、代表的な病気は押さえておき、うがい・手洗いはしっかりと!
- 6 危険** 遊びに熱中すると周囲の状況が目に入らなくなって危険です。決して一人で泥沼や草の生い茂っているところ、池などに近寄せないように。

ママへ 熱中症には注意を



⑨地面に近いほど気温が高い!!

大人が暑いと感じている時、子ども達はさらに高温で危険な環境になっています。